

平成22年3月期 決算説明会資料

曾田香料株式会社

代表取締役社長 中地俊朗

目次

- I. 会社概要
- II. 平成22年3月期 連結決算概要
- III. 平成23年3月期 連結通期業績予想
- IV. 中期経営課題について
(平成21年度から23年度)

I . 会社概要

会社概要

- 1) 設 立 昭和47年9月(創業 大正4年4月)
- 2) 資 本 金 14億9千万円
- 3) 事 業 所 本社(東京都中央区日本橋小伝馬町)
野田工場(千葉県野田市)、郡山工場(福島県郡山市)
大阪支店、札幌営業所

4) 関係会社

- | | |
|-------------|---|
| 連 結 子 会 社 | 岡山化学工業(株)、(株)ソダアクト
台湾曾田香料(股)有限公司
(H21/3月期第3Qより連結対象)
曾田香料(昆山)有限公司
(H22/3月期第1Qより連結対象) |
| 持分法適用非連結子会社 | 遠東香料(股)有限公司 |

5) 従業員数 (H22年3月末 有価証券報告書基準)

- | | |
|-----|------|
| 連 結 | 412名 |
| 単 体 | 289名 |

6) 事業内容

フレグランス（香粧品香料）

シャンプー・リンス、石鹸、芳香剤、入浴剤等に使用



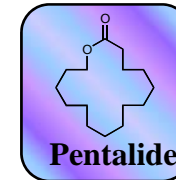
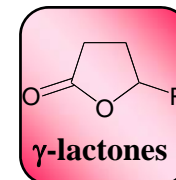
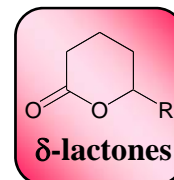
フレーバー（食品香料）

飲料、菓子、調味、たばこ、飼料等に使用



合成香料・ケミカル

- ・ラクトン類、大環状ムスク等のフレグランス・フレーバー素材
- ・ガス着臭剤（都市ガス・LPG用）
- ・化成品（電子材料用、医薬・農薬中間体等）



Ⅱ. 平成22年3月期 連結決算概要

連結P/Lの概要

億円

	前期		当期		増減	
	H21/3	構成比(%)	H22/3	構成比(%)	金額	率
売上高	185.2	100.0	161.2	100.0	△ 24.0	△13.0%
売上原価	126.0	68.1	112.4	69.7	△ 13.6	△10.8%
売上総利益	59.1	31.9	48.8	30.3	△ 10.3	△17.5%
販管費	38.3	20.6	37.6	23.3	△ 0.7	△1.9%
営業利益	20.8	11.2	11.2	7.0	△ 9.6	△46.2%
経常利益	20.9	11.3	10.2	6.3	△ 10.7	△51.0%
当期純利益	12.5	6.8	5.7	3.5	△ 6.8	△54.9%

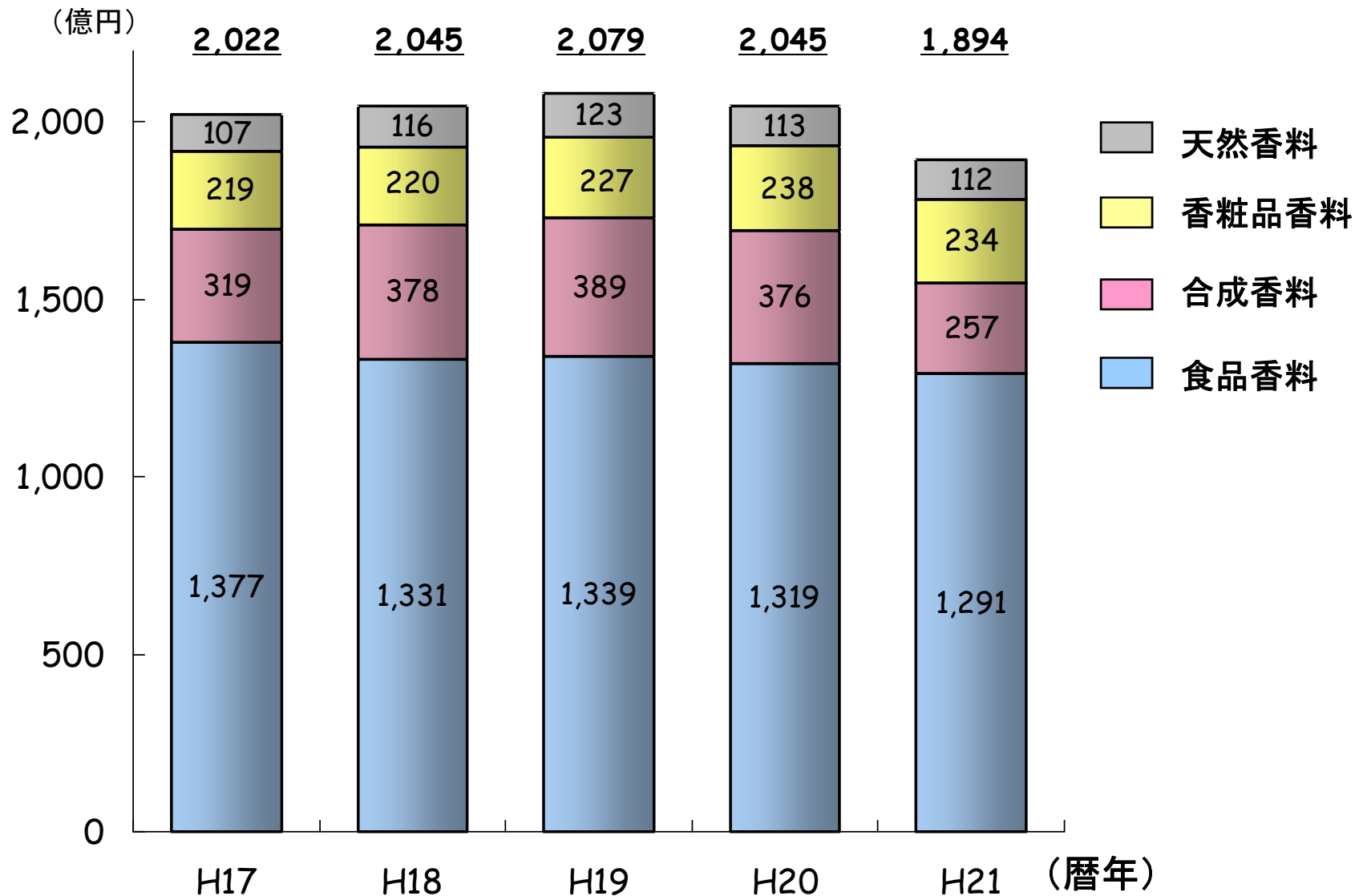
ポイント

◎合成香料・ケミカルの売上高の大幅な減少

◎減産コストアップ

国内香料市場推移（製品販売金額ベース）

（日本香料工業会 販売統計より）



部門別概況(1)

フレグランス

香粧品香料は、消臭・芳香剤用香料の減少により、
全体で10.6%の減収。

億円

	前 期 H21/3	当 期 H22/3	増 減	
			金 額	率
売 上 高	19.0	17.0	△2.0	△10.6%
うち製品	15.9	14.3	△1.6	△9.9%
うち商品	3.1	2.7	△0.4	△14.2%

部門別概況(2)

フレーバー

食品香料は、海外子会社を連結対象になったことにより、全体で8.1%の増収。

億円

	前 期 H21/3	当 期 H22/3	増	減
			金 額	率
売 上 高	75.6	81.8	+6.2	+8.1%
うち製品	51.9	60.6	+8.7	+16.8%
うち商品	23.7	21.2	△2.5	△10.7%

部門別概況(3)

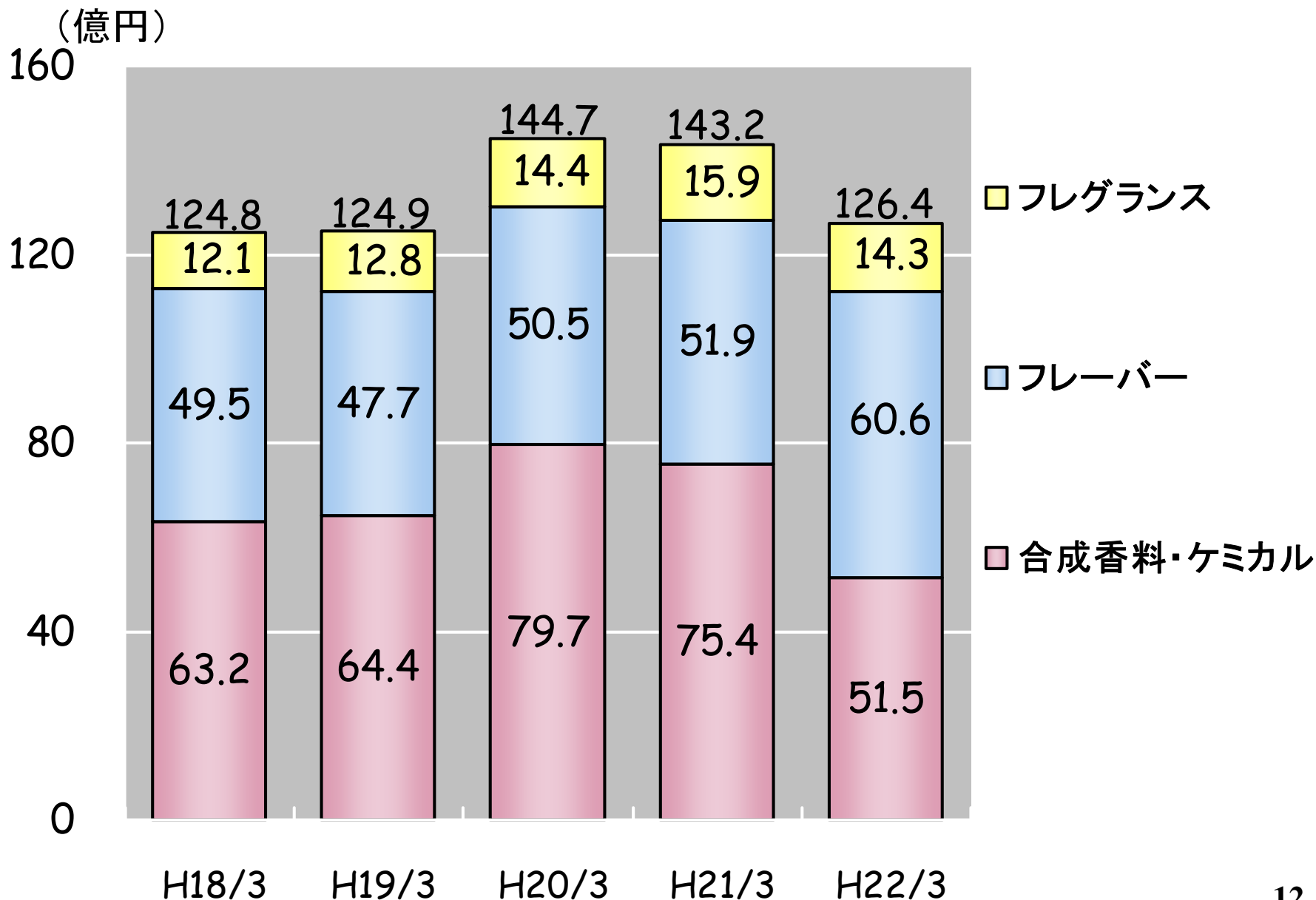
合成香料・ケミカル

合成香料は世界的な需要減、円高の進行により、ケミカルも電子材料用が大幅に減少し、減収。

億円

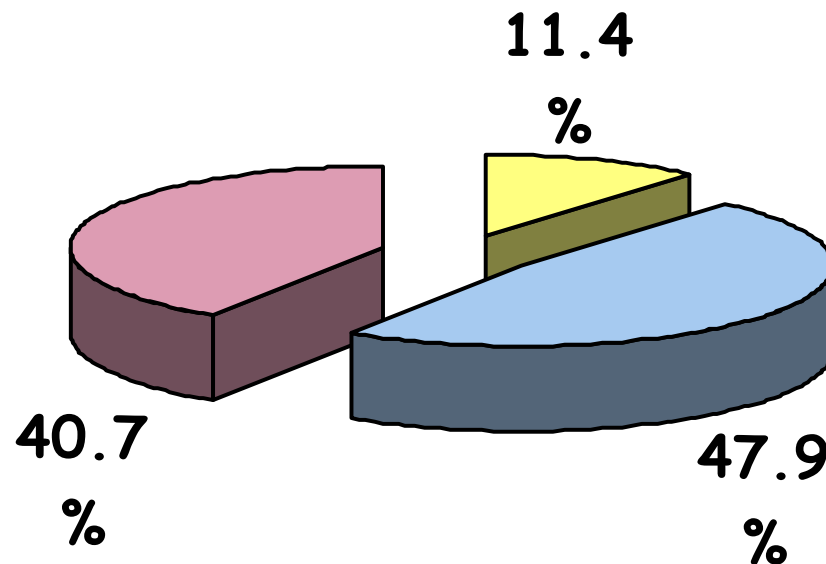
	前 期 H21/3	当 期 H22/3	増 減	
			金 額	率
売 上 高	90.4	62.3	△28.1	△31.1%
うち製品	75.4	51.5	△23.9	△31.7%
うち商品	15.0	10.8	△4.2	△28.1%

部門別売上高推移(製品)

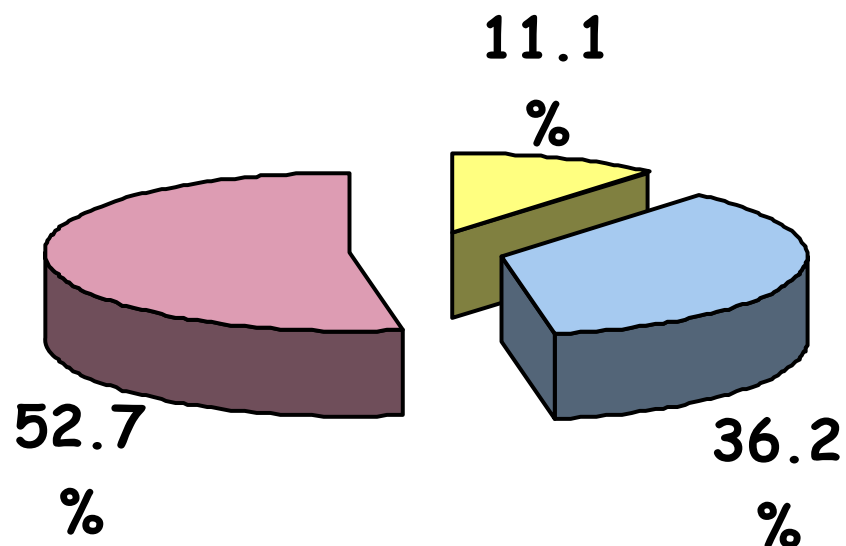


部門別構成比率(製品)

H22/3



H21/3

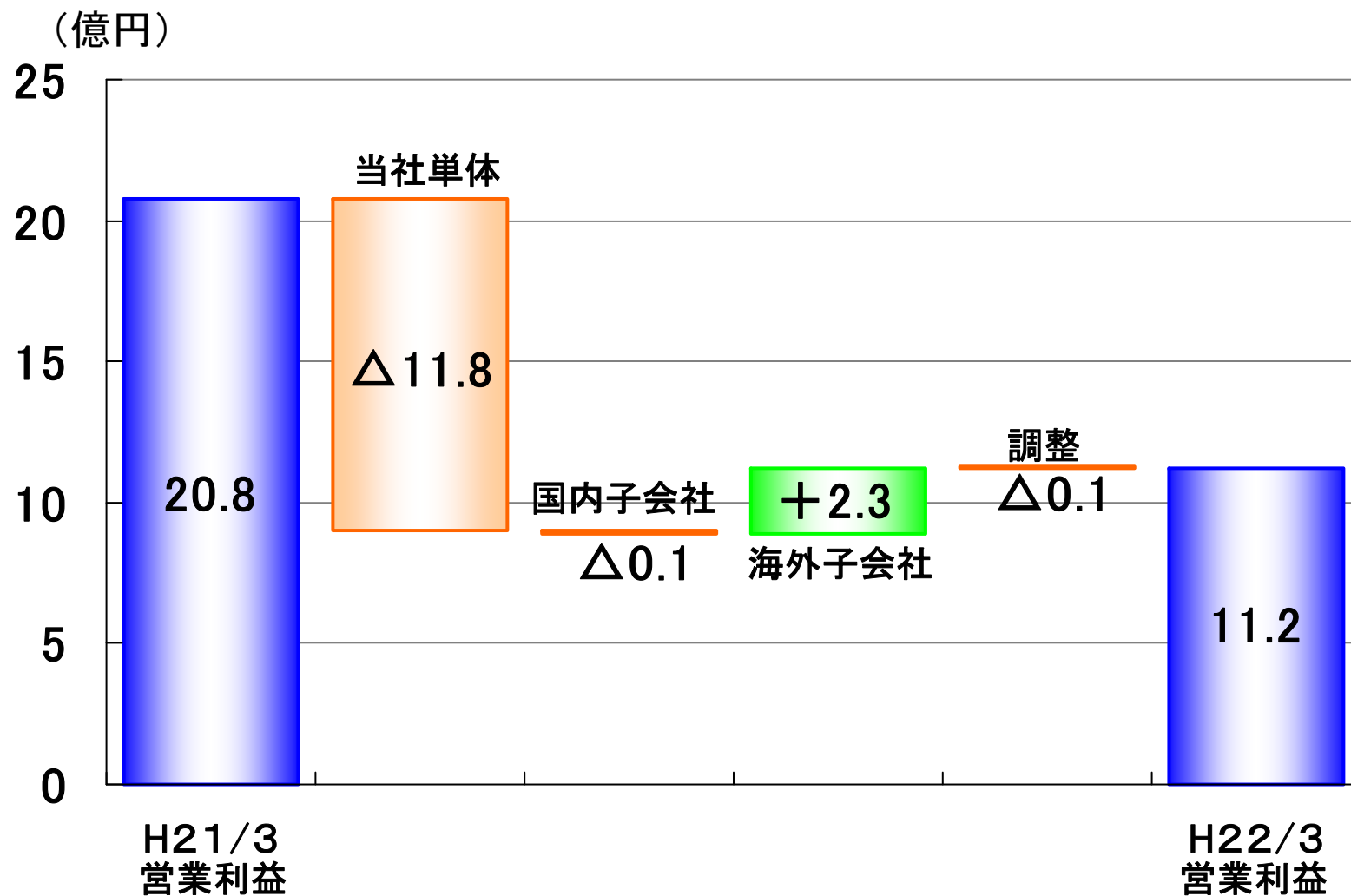


■ フレグランス

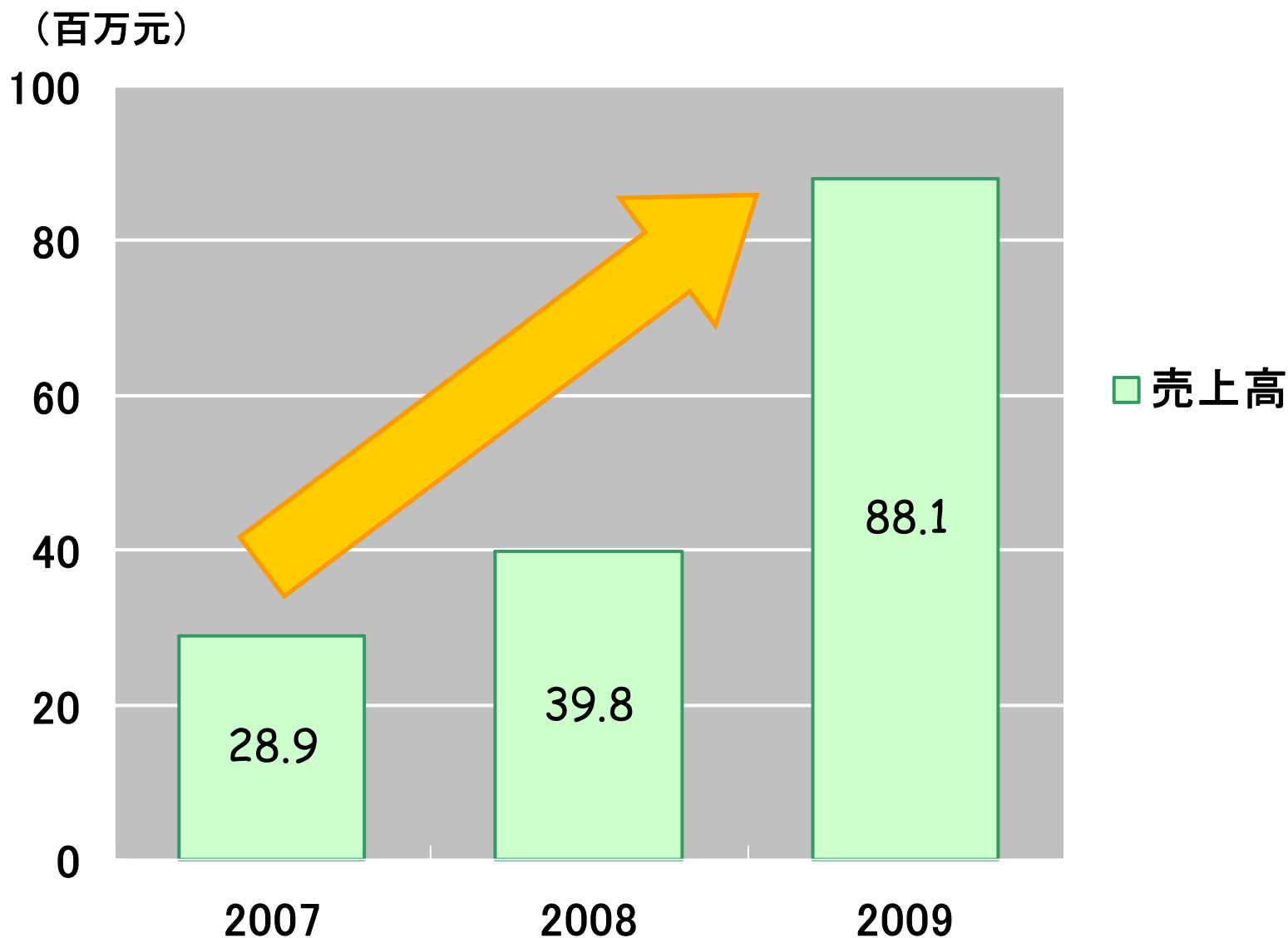
■ フレーバー

■ 合成香料・ケミカル

営業利益増減要因



曾田香料(昆山)の売上高推移(人民幣ベース)



連結B/Sの概要

億円

	H21/3	H22/3	増 減
総 資 産	183.4	182.9	△ 0.5 (△0.3%)
純 資 産	116.3	123.0	+ 6.7 (+5.8%)
自己資本比率	62.7%	66.1%	+3.4 ポイント
1 株 当 た り 純 資 産	1,150.66円	1,209.60円	+58.94円 (+5.1%)


 ポイント

◎自己資本比率は3.4ポイント上昇

①資産の部

億円

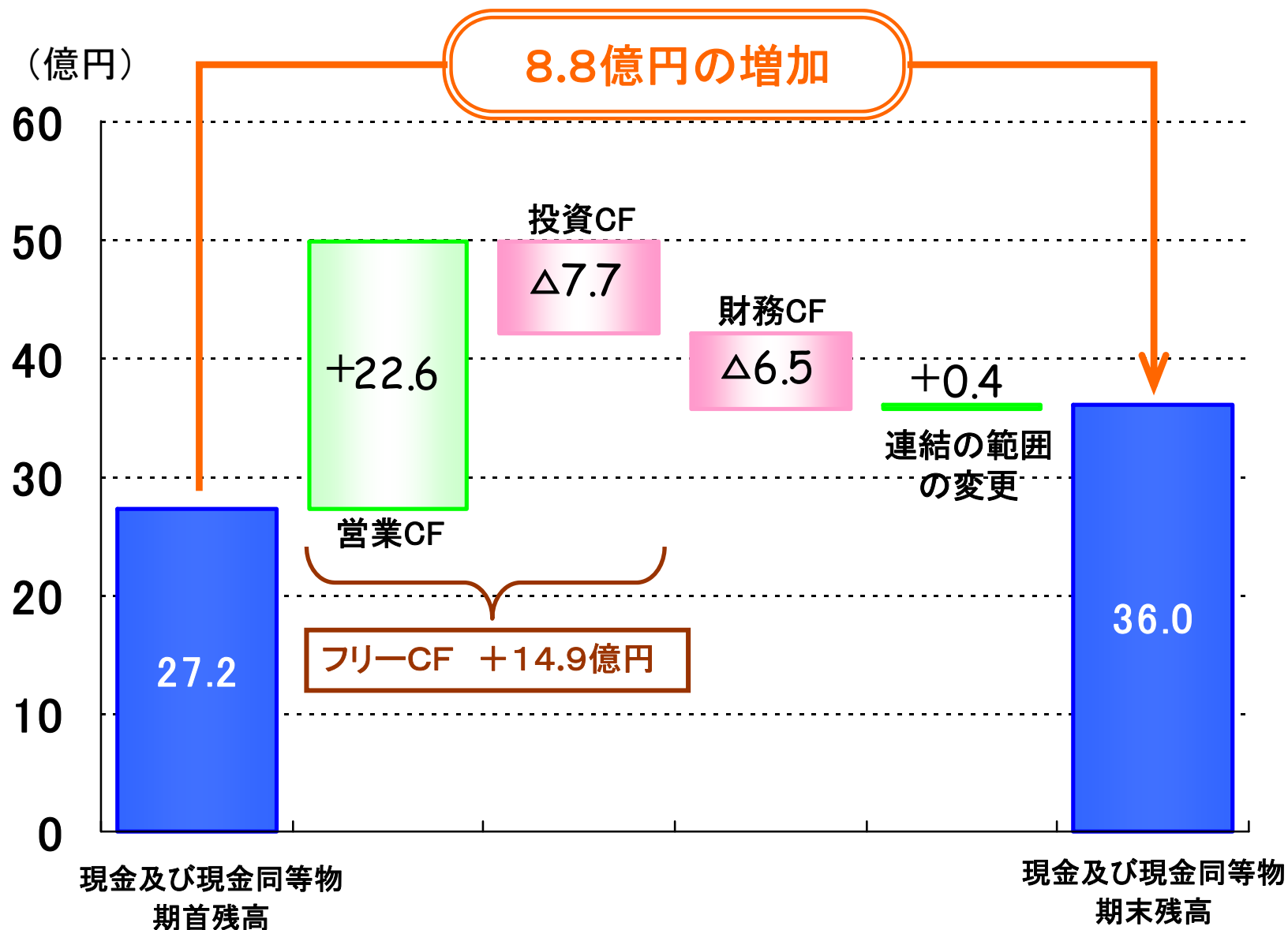
	H21/3	H22/3	増 減	特記事項
資 産 合 計	183.4	182.9	△ 0.5	
流 動 資 産	115.9	120.1	+ 4.2	現預金、売上債権の増加 たな卸資産の減少
有形固定資産	51.6	47.5	△ 4.1	固定資産の償却
無形固定資産	1.2	1.1	△ 0.1	
投資その他	14.7	14.1	△ 0.6	

②負債・純資産の部

億円

	H21/3	H22/3	増 減	特記事項
負 債 合 計	67.1	59.9	△ 7.2	
流動負債	44.0	35.4	△ 8.6	仕入債務の増加、短期借入金・設備支払手形等の減少
固定負債	23.1	24.5	+ 1.4	長期借入金の増加
純 資 産 合 計	116.3	123.0	+ 6.7	利益剰余金の増加
(うち利益剰余金)	(86.1)	(91.3)	(+5.2)	
有利子負債残高	13.0	8.0	△ 5.0	有利子負債を圧縮
D/Eレシオ(倍)	0.11	0.07	△ 0.04	

キャッシュ・フローの概要

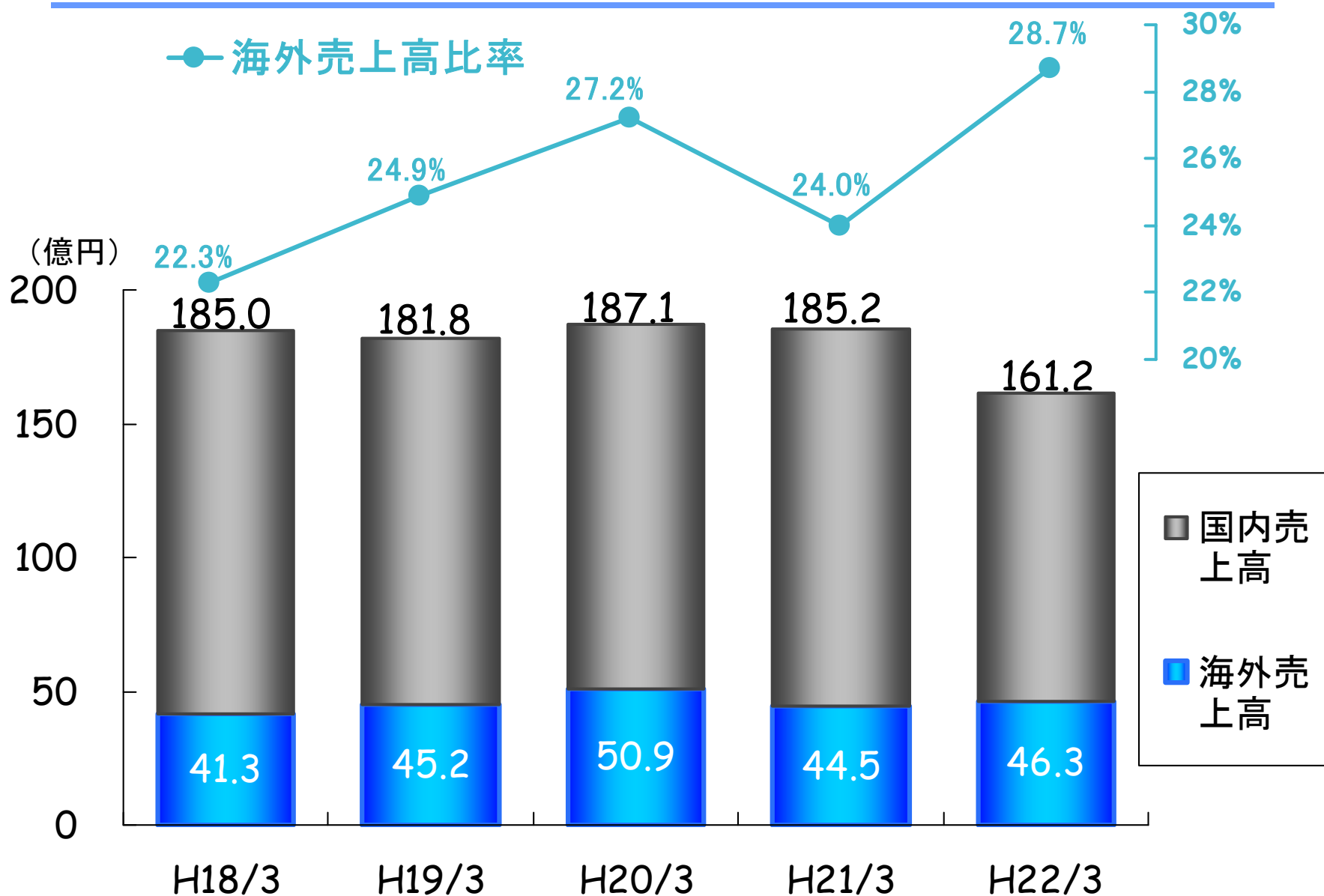


設備投資・減価償却費・研究開発費

億円

	H21/3	H22/3	増減
設備投資	9.2	2.7	△ 6.5
減価償却費	6.9	7.0	+ 0.1
研究開発費	9.4	8.6	△ 0.8

海外売上高の推移



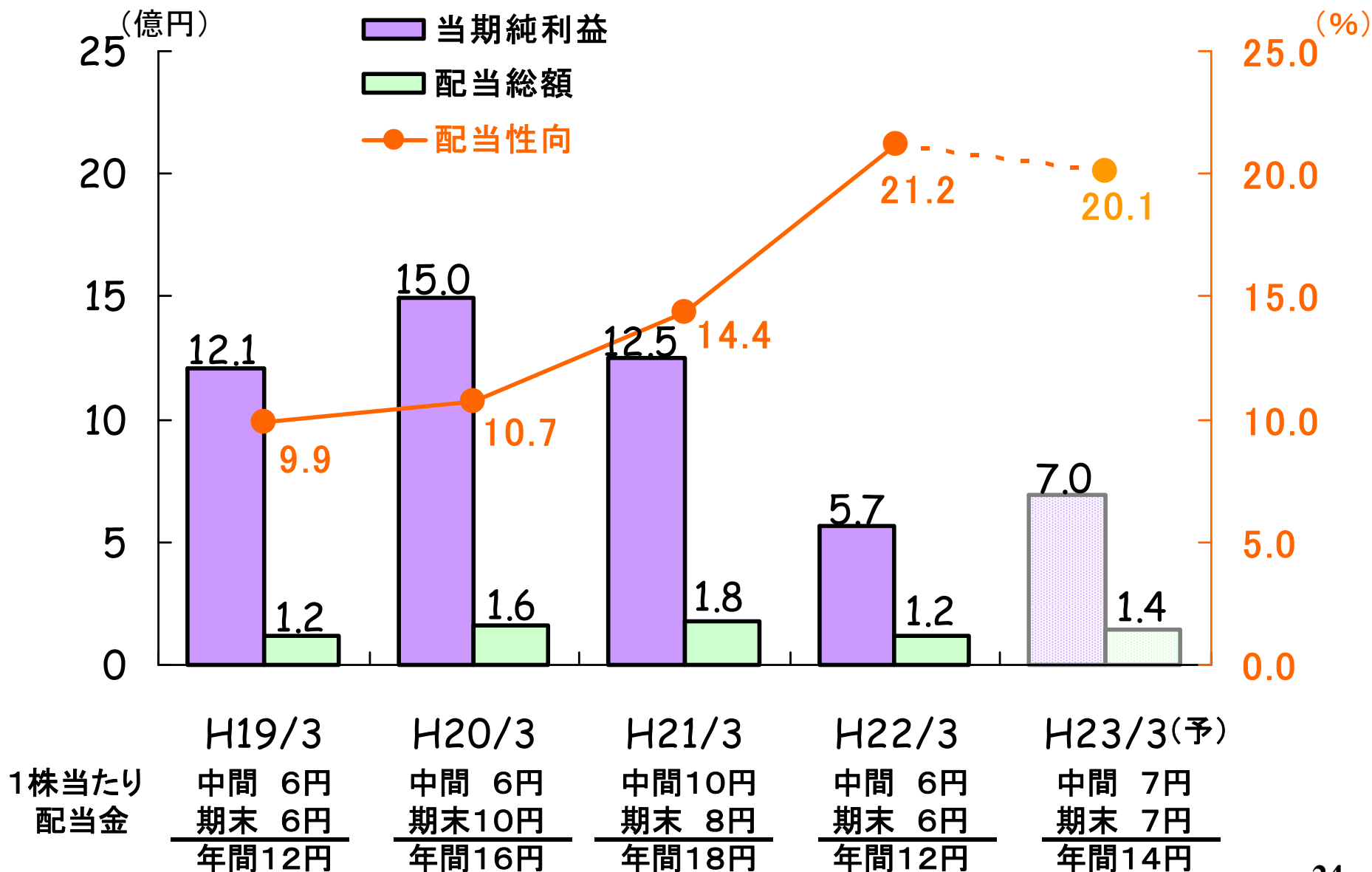
Ⅲ. 平成23年3月期 連結通期業績予想

平成23年3月期 通期業績予想

億円

	H22/3	H23/3 (予想)	増加率
連結売上高	161.2	171.0	+6.1%
営業利益	11.2	12.5	+11.6%
経常利益	10.2	12.5	+21.9%
当期純利益	5.7	7.0	+23.0%

純利益・配当総額と配当性向の推移



IV. 中期経営課題について (平成21年度～23年度)

中期経営課題(H21~H23年度)

今回の世界不況克服を第一とした上で、

事業収益の拡大に再チャレンジできる事業体質と事業構造の構築

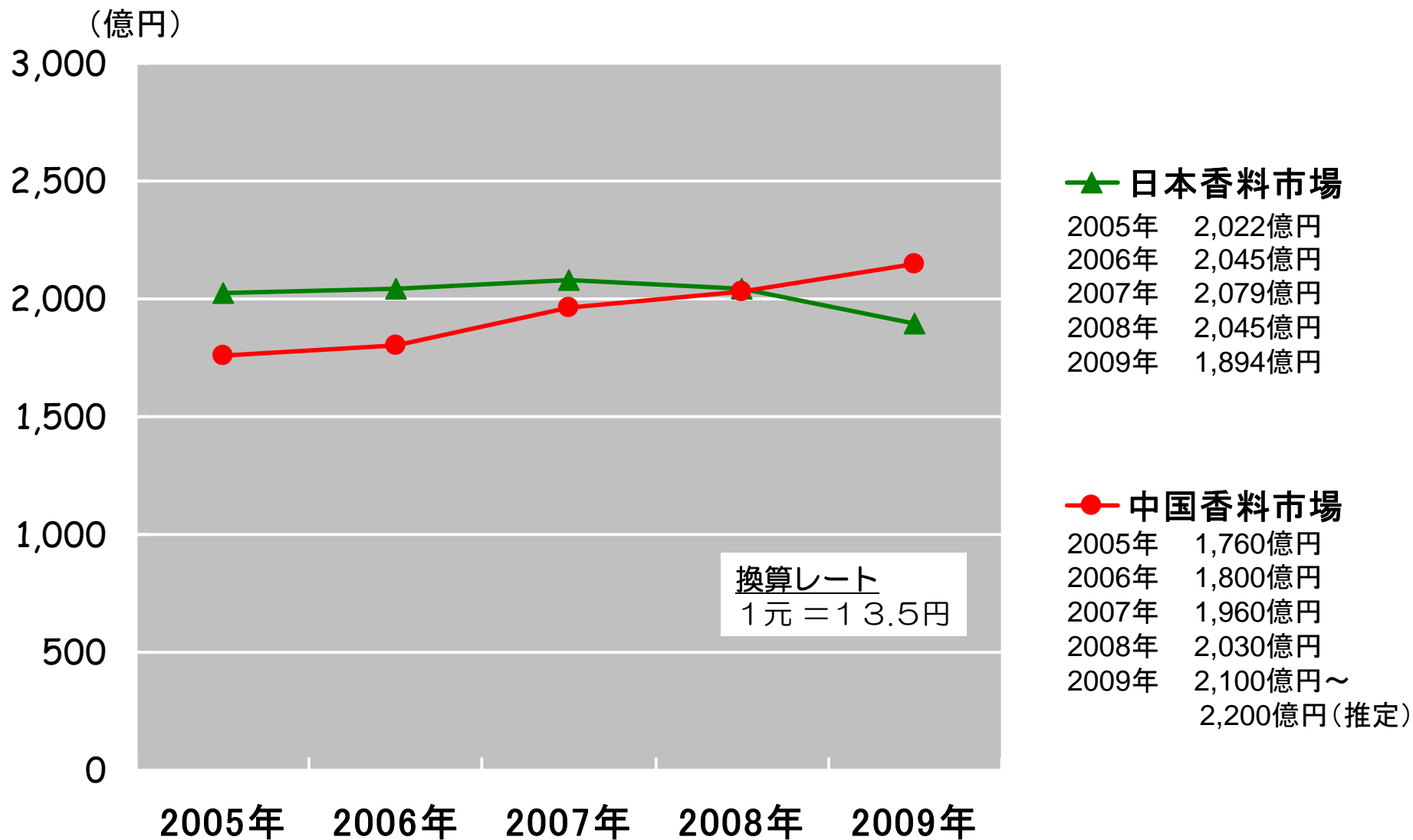
事業体質の強化

- 一層のトータルコスト(比例費・固定費)の削減
- 運転資金の圧縮と効率的な設備投資によるキャッシュフローの改善

事業構造の改革

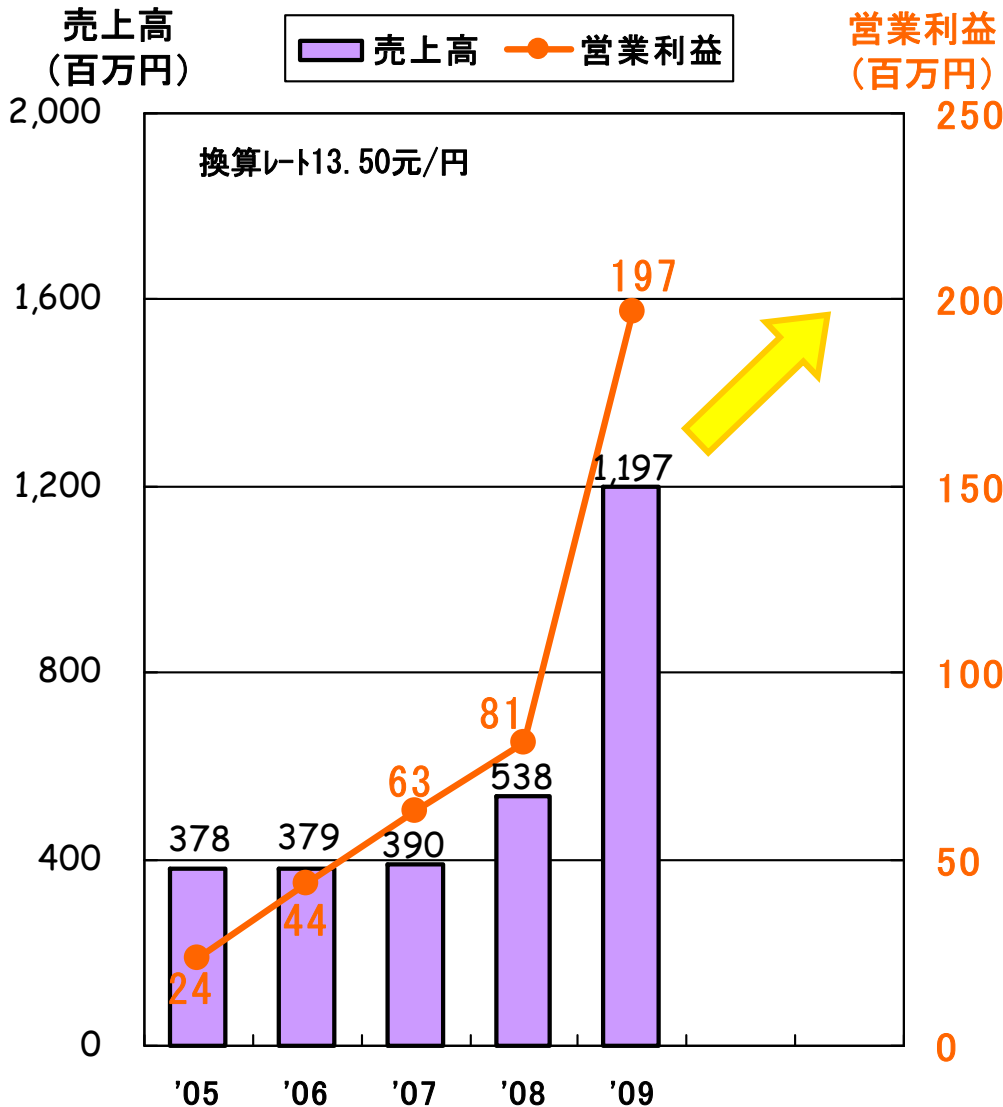
- 拡大が見込める分野への営業・研究開発戦力の重点投入
- フレグランス・フレーバーの国内シェアアップ
- 中国・東南アジア市場での事業拡大

日本・中国の香料市場推移



中国事業・曾田香料(昆山)の強化・拡大

(1) 売上高・営業利益推移



(2) 事業拡大のための課題

- ・ 台湾系顧客の維持・拡大
- ・ 中国系・日系顧客の獲得増
- ・ 工場の徹底的ブラッシュアップによる品質管理強化・生産拡大

本資料中の平成23年3月期業績予想、見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。

本資料に関するお問い合わせ

曾田香料株式会社
財務部

TEL : 03-5645-7340 (代)

FAX : 03-3668-6289 (代)